

彙報 二〇〇七年一月～六月

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十四日(木) 午後〇時五十分～

於 講堂

元禄文学再考―「かね」ではかる「ころ」と「いのち」―

本学教授 沙加戸弘

貨幣・法・言語と「人間」

東京大学教授 岩井克人

真宗総合研究所

◇真宗総合研究所委員会

三月九日(金) 午後四時十分～

於 博綜館第四会議室

・二〇〇六年度「指定研究」の研究経過報告について

・二〇〇七年度「指定研究」の研究計画について

画について

五月一日(火) 午後〇時十分～

於 博綜館第四会議室

・二〇〇七年度「指定研究」の研究計画の一部変更について

画の一部変更について

・二〇〇七年度「一般研究」の研究計画の一部変更について

画の一部変更について

○「指定研究」チーフ・キャップ・庶務連絡会

三月二日(金) 午後四時十分～

於 響流館真宗総合研究所

ミーティングルーム

・二〇〇六年度「指定研究」の研究経過について

・二〇〇七年度「指定研究」の研究計画について

○「指定研究」庶務・研究補助員連絡会

四月十二日(木) 午後〇時十分～

於 響流館真宗総合研究所

ミーティングルーム

・二〇〇七年度「指定研究」の研究補助業務について

○「一般研究」研究代表者の事務説明会

五月九日(水) 午後五時五十分～

於 響流館真宗総合研究所

ミーティングルーム

・研究遂行上の準備と事務手続きについて

・研究活動に関する予算執行について

真宗学会

◇「親鸞教学」第八十八号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

・研究遂行上の準備と事務手続きについて

・研究活動に関する予算執行について

真宗学会

◇「親鸞教学」第八十八号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇「親鸞教学」第八十九号発行

◇『哲學論集』第五十三号発行

(三月八日)

『目次』

『論文』

存在の傍らに在ること

池上哲司

ハイデガーの「存在の意味への問い」

とカテゴリーの直観

若見理江

近代日本におけるジェンダー秩序の確

立と家政学の成立

関口敏美

「戦後」経験主義教育論争——上田薫の

教育論の位置づけ——

大野 僚

生社会における未来性——北タイのエイ

ズ自助グループ——

田辺繁治

臨床描画法における解釈行為の深層に

ついての一考察

新美秀和

〈学会活動報告〉

*購入希望者には一部五百円で頒布中

(学内書店にて)

◇総会および

『哲學論集』第五十三号合評会

五月二十六日(土)午後一時三十分

於 講堂棟多目的ホール

〈合評論文〉

存在の傍らに在ること

池上哲司

生社会における未来性——北タイのエイ

ズ自助グループ——

田辺繁治

~~~~~  
国史学会・日本仏敎史学会  
~~~~~~~~~~  
◇大谷大学日本史の会一月例会
~~~~~

一月十三日(土)午後二時

於 響流館演習室四

寺内町の空間構造についての一考察

森本修平

◇大谷大学日本史の会三月例会

三月二十四日(土)午後二時

於 響流館演習室四

中世村落と慣習法に関する一考察

川端泰幸

◇大谷大学日本史の会五月例会

五月二十六日(土)午後二時

於 響流館演習室四

中世近江の漁業——在地神社との関わり

から——

溝口純一

◇『歴史の広場』第九号発行

『巻頭』

『茶道学』の提唱——茶道史研究の昨今——

谷端昭夫

## 〈研究報告〉

遣明船をめぐる本願寺・土佐一条氏・

大内氏・堺の關係——『天文日記』を

中心に——

大畑博嗣

私の博物館

私の勤めていた資料館——高島町歴史民

俗資料館——

白井忠雄

『最近読んだ本』

豊島修著『熊野信仰史研究と庶民信仰

史論』

鈴木善幸

谷端昭夫著『公家茶道の研究』

山田哲也

~~~~~  
文 藝 学 会
~~~~~

◇『文藝論叢』第六十八号発行

(三月A5判五二八ページ)

若槻俊秀教授退休記念

死を想い生を歌う

乾 源俊

『正名要録』の俗字基準

稲垣淳史

『金蔵論』——新出の敦煌本と卷五・卷

六の問題を中心に——

宮井里佳

本井牧子

陳景元の音注——『南華真經章句音義』

と『莊子音義』との異同を中心に――

浦山あゆみ

ある知識人の半世紀の歩み（巻）――

「反右派運動」から「文化大革命」

までの軌跡――

李 青

細井和彦

『列仙全伝』研究（7）――図像資料集

① 佐藤義寛

その他寄稿二十四編

## 中国文学会

◇若槻俊秀教授最終講義

三月十日（土）午後一時――

於 尋源講堂

日中の思想史における「封建」「郡

県」論をめぐって

本学教授 若槻俊秀

記念祝賀会 午後五時―― 於 京新山

## 西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第二十七号発行

『南方郵便機』における一人称語り

――物語情報の観点から―― 藤田義孝

ドイツ語文体論における教育文体論の

可能性 廣川智貴

物語る不死鳥――『テンペスト』と『ジ

エイムズ王』―― 三浦誉史加

## 短期仏教科

◇『仏教研究紀要』第二十九号発行

## 短期文化学科

◇新人生歓迎講演会

五月二十五日（金）午前十時四十分――

於 響流館メディアホール

きみは船に乗るのか

香老舗株式会社松榮堂

代表取締役社長 畑 正高

## 幼児教育保育科

◇『大谷大学短期大学部幼児教育保育科

研究紀要』第八号発行

（三月十五日B5判九十二ページ）

音楽は心の表現――養成校としての音楽

指導―― 豊住征子

見る力・イメージする力

――鑑賞教育を通して―― 太田智子

日本の伝統玩具

――手づくり玩具の意義――

竹田ひとみ

幼年童話の現代――小沢正『目をさませ

トラゴロウ』の新しさ―― 藤本芳則

子どもを取り巻く社会状況と保育者の

支援を考える 井上摩紀

保育園保育における0・1歳児の人と

関わる力の育ち――ヴィゴツキーの

「発達の最近接領域」から考える乳

児保育―― 射場美恵子

児童養護施設における権利擁護の取り

組み 徳岡博巳

実践についての記録からテーマ・意味

を見つけ出すということ――ヴァン・

マーン『生きた経験の研究』

を参照して―― 山内清郎

内観の保育―倉橋惣三先生と考える保育者論(1)― 大城邦義

◇保育総合研修会

六月二十三日(土)―二十四日(日)

於 花背山の家

参加者…幼児教育保育科一・二年生及び関係教育職員

目的…宿泊を共にし、集団活動を通して学生相互、学生・教員間の親睦・理解を深める。豊かな自然環境の中の活動を通して、将来の保育者としての感性を高め、資質の向上を目指す。

テーマ…一期一会

日程…二十三日(土)

午前十時大学出発(京都バス)

午前十一時花背山の家到着・入所

式・オリエンテーション

正午昼食

午後一時半～五時活動(オリエン

テーション・ポートボール・グ

ループ発表に向けてのミーティン

グ)

午後五時半夕食

午後六時半キャンプファイヤー・ゲーム遊び

午後八時半入浴

午後十時就寝

二十四日(日)

午前六時起床・朝の集い

午前七時四十五分朝食・清掃

午前九時活動(グループ発表)

午前十一時退所式

午前十一時半花背山の家出発

(京都バス)

午後〇時半大学着・片付け・解散

※一日目は晴天に恵まれ、二日目には早朝から雨であったが、活動には支障なく、充実した研修会であった。